

令和7年10月27日
記者発表資料

「いのち」を守る病院を、地域のみんなで支えるために、共同メッセージを発出します！

—「病院」は今、深刻な危機に直面しています—

県内の病院は、深刻な経営危機に直面しています。「いのち」の砦であり、地域のインフラである病院を守り、オール神奈川で地域医療を支える機運を醸成するため、県と医療関係団体が連携し、共同メッセージを発出します。

1 趣旨

現在、病院の約7割が赤字経営と言われています。収入の中心である「社会保険診療報酬」が、物価や人件費の高騰等に追いついておらず、患者さんが増えても経営が苦しい状況です。そこで、県と医療関係団体（県医師会、県病院協会、県精神科病院協会）が一体となって、病院が経営危機に直面している現状について、県民に理解していただくための共同メッセージを発出し、オール神奈川で地域医療を支える機運を醸成します。

2 共同メッセージの主な内容

(1)「いのち」の砦である病院は今、深刻な危機に直面しています。

(2)このままでは、ある日突然「病院」がなくなります。地域のインフラである病院を守り、神奈川の医療をみんなで支えていきましょう。

※共同メッセージに関連し、県から県民の皆様へお願いしたい内容を併せて周知します。

3 共同メッセージの発出を行う団体等

神奈川県

神奈川県病院協会

神奈川県医師会

神奈川県精神科病院協会

・添付資料

共同メッセージ

「いのち」を守る病院を、地域のみんなで支えるために～「Save Our Hospital！」～

4 その他

共同メッセージの内容をまとめた広報ツール(チラシやホームページバナー等)を作成し、県ホームページで公表するとともに、県内病院等での広報に活用します。

問合せ先

神奈川県健康医療局保健医療部医療企画課

課長 渡邊 電話 045-285-0732

企画グループ 佐藤 電話 045-285-0734

「いのち」を守る病院を、地域みんなで支えるために
 ~ Save Our Hospital! ~

「病院」は今、 深刻な危機に直面しています。

- 診療報酬が、物価や人件費等の高騰に追いついていません。
- 職員の給与を上げられず、人手不足がさらに深刻化しています。



私たちの地域の「病院」、それはかけがえのない「いのち」の砦です。このままでは、ある日突然、「病院」がなくなります。

地域のインフラである病院を守り、神奈川の医療をみんなで支えていきましょう。

令和7年10月27日

神奈川県知事

神奈川県病院協会会長

神奈川県医師会会長

神奈川県精神科病院協会会長

黒岩 祐治

吉田 勝明

鈴木紳一郎

山口 哲顕

神奈川県から

県民のみなさまへ

1 病院が深刻な経営危機に直面していること、人材不足など医療資源には限りがあることについて、ご理解をお願いします。

2 特に救急医療については、必要な方が速やかに受診できるよう、ご協力をお願いします。



平日・日中の診療時間内の
受診・病状説明にご協力を



かながわ救急相談センター
(#7119)のご活用を

令和7年11月からWebでも緊急
度の判定ができるようになります

3 医療機関はあなたの力を必要としています。
看護師等の資格をお持ちの方はもちろん、資格のない方も、
医療事務職や看護補助者など、活躍の場があります。
神奈川県内の医療機関で働いてみませんか。

看護職員、看護補助者の方はこちら

ナースセンター

<https://www.kana-kango.or.jp/nursecenter/>



神奈川県は、地域の「いのち」を守る病院を
しっかり支援していきます。